

病態制御医学講座／精神医学領域 附属病院／神経科精神科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	和田 有司	平成 11 年 10 月－
准教授	東間 正人	平成 24 年 4 月－
講師	小俣 直人	平成 13 年 4 月－平成 15 年 3 月，平成 17 年 4 月－（平成 22 年 4 月－現職）
講師	高橋 哲也	平成 16 年 4 月－（平成 23 年 7 月－現職）－平成 26 年 9 月
特命教授	小坂 浩隆	平成 17 年 4 月－平成 24 年 1 月 平成 24 年 2 月－子どものこころの発達研究センター所属（平成 26 年 12 月－現職）
助教	東 美江	平成 22 年 4 月－
助教	松村 由紀子	平成 24 年 4 月－
助教	渡邊 恵美	平成 23 年 4 月－平成 25 年 5 月 平成 26 年 4 月－平成 26 年 8 月
助教	田中 悠二	平成 25 年 4 月－
助教	上野 幹二	平成 25 年 4 月－平成 25 年 7 月 平成 26 年 3 月－
助教	神近 哲郎	平成 26 年 8 月－平成 27 年 3 月
助教	岡崎 玲子	平成 27 年 3 月－

2. 研究概要

● 研究概要

精神疾患の生物学的基盤を明らかにし、その発症予防や早期介入、診断法の確立および治療のあらたな開発に寄与することを目標に研究をすすめている。研究の分野は、動物モデルを用いた基礎的研究から、各精神疾患を対象とした臨床研究までを広く網羅しているのが特徴である。

● キーワード

神経生理学，児童精神医学，老年精神医学，精神薬理学，社会精神医学

● 特色等

基礎的研究としては、実験小動物の新鮮脳切片や疾患モデル動物を用いた向精神薬の作用、疾患発症の機序に関する研究などを行っている。臨床研究としては、健常者の記憶や感情など高次脳機能の画像化、統合失調症や発達障害における認知機能異常の脳機能イメージング、うつ病の脳深部白質病変および自律神経機能などの定量評価などを進めている。さらに、脳波や MEG のデータ解析による統合失調症や加齢の非線形法を用いた研究、睡眠の臨床生理学的検討、緩和ケアにおけるせん妄や慢性疼痛患者に対する検討も併せて行っている。

以上、日常の診療を基盤として、また各研究領域間の連携を密にすることで精神疾患の統合的アプローチを目指している。

● 本学の理念との関係

学内の高エネルギー医学研究センター、子どものこころの発達研究センター、放射線医学、検査部などとの連携の中で、機能画像と分子生物学、さらに精神薬理や神経生理学的なアプローチを駆使して、先駆的な脳とこころの研究を展開している。学外では、県内外の研究機関との共同研究をすすめている。

I. 臨床神経生理（てんかん、臨床脳波や睡眠など）および神経精神薬理

● 研究概要

- 1) てんかんや睡眠時無呼吸・ナルコレプシーの終夜ポリソムノグラフィーによる検討
- 2) オキシトシン投与による自閉症スペクトラム障害者の社会性向上に対する影響
- 3) 細胞内情報伝達系に注目した気分障害の病態解明とリチウムの神経保護作用
- 4) サイトカイン(TNF- α やアディポネクチン)や HPA 系など精神薬理・内分泌学的検討

II. ヒト高次脳機能および精神神経疾患の形態・機能画像

● 研究概要

- 1) 精神神経疾患（自閉症スペクトラム障害、統合失調症など）の脳形態・脳代謝機能
- 2) 感情を表出した表情認知や共同注視に関する fMRI 研究
- 3) マルチスケールエントロピーを用いた精神疾患の認知機能や脳波特性に関する研究
- 4) マルチフラクタル非線形解析法による発達・加齢や MRI 深部白質病変の定量評価
- 5) 神経心理学的アプローチによる認知機能の評価
- 6) ポジトロン標識化合物とラット新鮮脳切片を用いた脳代謝イメージング
(向精神薬の作用機序とその分子メカニズムの解明)
- 7) 生育環境や亜鉛など微量元素と情動との関係
- 8) 電気けいれん療法の作用メカニズムに関する研究

III. 老年精神医学・社会精神医学

● 研究概要

- 1) 緩和ケアにおけるせん妄や慢性疼痛患者に対する最適な薬物療法の検討
- 2) がん患者のせん妄に関する精神薬理学および心理社会的研究
- 3) 地域高齢者に対するメンタルヘルス健診と啓発活動
- 4) 認知症の早期介入に関する研究

3. 研究実績

区 分		編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文		17	2	—————	—————
英文論文	ファーストオーサー	34	4	79.919 (79.919)	4.131 (4.131)
	コレスポンデイングオーサー	23	5	47.435 (47.435)	12.522 (12.522)
	その他	17	3	60.914 (60.914)	5.717 (5.717)
	合計	55	9	157.692 (157.692)	21.218 (21.218)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1432001

+M. Jung, H. Kosaka, *D.N. Saito, Ishitobi Makoto, +T. Morita, *K. Inohara, *M. Asano, +S. Arai, +T. Munesue, *Tomoda A., Y. Wada, +N. Sadato, *H. Okazawa, +T. Iidaka: Default mode network in young male adults with autism spectrum disorder: relationship with autism spectrum traits. Mol Autism, 5, 35, 2014.06, #5.486, DOI; 10.1186/2040-2392-5-35

1432002

*M. Asano, M. Ishitobi, H. Kosaka, +M. Hiratani, Y. Wada: Ramelteon monotherapy for insomnia and impulsive behavior in high-functioning autistic disorder. J Clin Psychopharmacol., 34 (3) , 402-3, 2014.06, #3.513 (症例報告)

1432004

*T. X. Fujisawa, +S. Tanaka, *D.N. Saito, H. Kosaka, *A. Tomoda: Visual attention for social information and salivary oxytocin levels in preschool children with autism spectrum disorders: An eye-tracking study. Front Neurosci, 8, 295, 2014.09, DOI; 10.3389/fnins.2014.00295

1432005

*Y. Okamoto, +R. Kitada, +Hiroki C. Tanabe, +M. J. Hayashi, +T. Kochiyama, +T. Munesue, +M. Ishitobi, *D.N. Saito, +H. T. Yanaka, *M. Omori, Y. Wada, *H. Okazawa, +A. T. Sasaki, +T. Morita, +S. Itakura, H. Kosaka, +N. Sadato: Attenuation of the contingency detection effect in the extrastriate body area in autism spectrum disorder. Neuroscience Research, 2014.10, #2.204

1432006

N. Omata, T. Mizuno, H. Mitsuya, K. Mita, Y. Higashi, T. Kamichika, *Y. Kiyono, *H. Okazawa, Y. Wada: Neuronal plasticity in depressive or manic states - New assessment of our hypothesis: Mania is an extension of depression from the perspective of neuronal plasticity. Med Hypotheses, 24 (3) , 891-8, 2014.10, #1.152

1432007

+H. Komeda, H. Kosaka, *D.N. Saito, +Y. Mano, +M. Jung, *T. Fujii, +HY. Yanaka, +T. Munesue, M. Ishitobi, *M. sato, *H. Okazawa: Autistic empathy toward autistic others. Soc Cogn Affect Neurosci., 10 (2) , 145-152, 2015.02, #5.884, DOI; 10.1093/scan/nsu126.

1432008

R. Okazaki, T. Takahashi, K. Ueno, +K. Takahashi, +M. Ishitobi, +M. Kikuchi, M. Higashima, Y. Wada: Changes in EEG complexity with electroconvulsive therapy in a patient with autism spectrum disorders: a multiscale entropy approach. Front Hum Neurosci., 9, 106, 2015.02

1432009

H. Mitsuya, N. Omata, *Y. Kiyono, T. Mizuno, T. Murata, K. Mita, *H. Okazawa, Y. Wada: The co-occurrence of zinc deficiency and social isolation has the opposite effects on mood compared with either condition alone due to changes in the central norepinephrine system. Behavioural Brain Research, 1 (284) , 125-130, 2015.02

1432003

K. Ueno, T. Takahashi, +K. Takahashi, K. Mizukami, Y. Tanaka, Y. Wada: Neurophysiological basis of creativity in healthy elderly people: A multiscale entropy approach. Clinical Neurophysiology, 126, 524-531, 2015.03, #2.979

(2) 和文: 著書等 (proceedings を除く)

a. 著書（分担執筆）

1432010

小坂 浩隆：自閉症とトラウマ 思春期以降：友田明美，杉山登志郎，谷池雅子（編）： **子どもの PTSD 診断と治療**，診断と治療社，108-114，2014.05

1432011

小俣 直人，水野智之，三屋博宣，和田 有司：躁はうつの延長にある一気分障害における神経可塑性と神経系への負荷との多軸的評価の試み： **Bipolar Disorder 12**，（株）アルタ出版，37-48，2014.06

(3) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1432012

西本 武史，*高野 智早，*高井 美穂子，小坂 浩隆：ベンゾジアゼピン系薬剤多剤併用から抑肝散に変方し、不安・不眠が軽快した白血病の1症例. **漢方と診療**，5（1），43，2014

b. 原著論文（審査無）

(1332055)

小坂 浩隆，+田邊 宏樹，+守田 知代，*岡本 悠子，*齋藤 大輔，+石飛 信，+棟居 俊夫，和田 有司，+定藤 規弘：自閉症スペクトラム障害の社会性障害を探索：fMRI 研究. **日本生物学的精神医学会誌**，2013

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 一般講演（ポスター）

1432013

+Jung M, Kosaka H, *Saito DN, +Ishitobi M, +Morita T, +Inohara K, *Sasaki A, *Asano M, +Arai S, +Masuya Y, +Munesue T, *Tomoda A, Wada Y, +Sadato N, *Okazawa H, +Iidaka T: Functional connectivity in default mode network predicts autism spectrum traits?, The 20th annual meeting of the Organization for Human Brain Mapping (OHBM), 2014.06, Hamburg, Germany

1432014

+Takiguchi S, *Fujisawa TX, *Saito DN, +Mizushima S, *Kumazaki H, *Koizumi M, +Jung M, Kosaka H, *Tomoda A: Preliminary fMRI study during the reward task in children and adolescents with Reactive Attachment Disorder., ISPCAN International Congress, 2014.09, 名古屋

1432015

+Jung M, Kosaka H, *Saito DN, +Ishitobi M, +Munesue T, *Tomoda A, Wada Y, *Okazawa H, +Iidaka T: Default mode network in young male adults with autism spectrum disorder: relationship with autism spectrum traits, The 17th World Congress of Psychophysiology (IOP2014), 2014.09, 広島

1432016

T.Takahashi, K.Ueno, +K.Takahashi, K.Mizukami, Y.Tanaka, Y.Wada: Neurophysiological basis of creativity in healthy elderly people:a multiscale entropy approach, WPA2014(第16回世界

精神医学会議), 2014. 09

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. シンポジスト・パネリスト等

1432017

小坂 浩隆: 自閉症スペクトラムの脳画像研究の取り組むべき課題, 第 110 回日本精神神経学会学術総会, 自閉症スペクトラムの臨床精神医学的研究の課題と挑戦, 2014. 06, 横浜市

1432018

小坂 浩隆: オキシトシン連続投与による自閉症スペクトラム障害者の社会性障害への治療法の可能性, 第 110 回日本精神神経学会学術総会, 自閉症スペクトラム障害の実践的治療の展望, 2014. 06, 横浜市

b. 一般講演 (口演)

(1332056)

*米田誠, *井川正道, +清野千恵子, *川谷正男, *畑郁江, *前田浩幸, 小坂 浩隆, 東間正人, *松木孝澄, 和田有司: 福井大学遺伝診療部の現状と課題, 第 58 回日本人類遺伝学会, 2013. 11, 宮城

(1332057)

+守田知代, 小坂 浩隆, *齋藤大輔, *藤井猛, +石飛信, +棟居俊夫, *猪原敬介, *岡沢秀彦, +柿木隆介, +定藤規弘: 自閉症スペクトラム障害における自己意識情動, 第 3 回社会神経科学研究会「社会的行動の決定機構」, 2013. 11

(1332058)

+米田英嗣, 小坂 浩隆, *齋藤大輔, +間野陽子, *藤井猛, *谷中久和, +石飛信, +棟居俊夫, *岡沢秀彦: 自閉症スペクトラム成人による自閉症スペクトラムをもつ他者に対する共感: fMRI 研究, 発達心理学会第 25 回大会, 2014. 03, 京都

1432019

*中村 巳早都, *川口 めぐみ, +鳥羽 愛乃, +炭本 祐佳, 田中 悠二: 急性期病院における訪問型こころの健康プロジェクトの取り組み, 日本看護学会 (ヘルスプロモーション), 2014. 08

1432020

小坂 浩隆, +丁ミンヨン, *齋藤大輔, +石飛信, *猪原敬介, +新井清義, *升谷泰裕, *藤岡徹, *岡本悠子, +棟居俊夫, *友田明美, *佐藤真, +定藤規弘, *岡沢秀彦, 和田有司: 自閉症スペクトラム障害者の DMN の機能的連結に対するオキシトシン継続投与による影響, 第 37 回日本神経科学大会, 2014. 09

1432021

+丁ミンヨン, *齋藤大輔, +石飛信, +守田知代, *猪原敬介, +佐々木章浩, +新井清義, *升谷泰裕, *藤岡徹, *岡本悠子, +棟居俊夫, *友田明美, +定藤規弘, *岡沢秀彦, +飯高哲也, 和田有司, 小坂浩隆: 自閉症における扁桃体の安静時脳活動, 第 37 回日本神経科学大会, 2014. 09

1432022

+守田知代, 小坂 浩隆, *齋藤大輔, *藤井猛, +石飛信, +棟居俊夫, *猪原敬介, *岡沢秀彦, +柿木隆介, +定藤規弘, 和田有司: 他者による観察が自閉症スペクトラム障害者の自己意識情動に及ぼす影響の検討, 第 37 回日本神経科学大会, 2014. 09

1432023

*岡本悠子, +北田亮, +関あゆみ, +田邊宏樹, +林正道, +河内山隆紀, +棟居俊夫, +石飛信, *齋藤大輔, *谷中久和, *大森晶夫, 和田有司, *岡沢秀彦, 小坂 浩隆, +小枝達也, +定藤規弘: 成人、小児 ASD におけるカテゴリー選択的な視覚領域の活動, 第 37 回日本神経科学大会, 2014. 09

1432024

田中 悠二, 東間正人, 高橋哲也, 上野幹二, *川口めぐみ, *中村巳早都, +水上喜美子, +田中祐佳, +鳥羽愛乃, +大森晶夫, 和田有司: 集団的認知機能検査「ファイブ・コグ」を用いた地域高齢者における軽度の認知機能低下の評価, 第 36 回日本生物学的精神医学会・第 57 回日本神経化学会大会 合同年会, 2014. 10

1432025

+水島栄, *島田浩二, +小泉径子, *熊崎博一, *藤澤隆史, *齋藤大輔, 小坂浩隆, *友田明美: 定型発達児における Reading the Mind in the Eyes Test の脳内神経基盤の探求, 第 41 回日本脳科学会, 2014. 11, 福井

1432026

田中 悠二, 東間 正人, 上野 幹二, 高橋 哲也, 大森 晶夫, *川口 めぐみ, *中村 巳早都, 水上 喜美子, 和田 有司: 健常高齢者の日常活動に影響する認知機能低下, 第 34 回日本社会精神医学会, 2015. 03

c. 一般講演 (ポスター)

(1332059)

+新井清義, 石飛 信, *浅野 みずき, *猪原敬介, +丁ミンヨン, +平谷 美智夫, 小坂 浩隆, +松浦直己: ADHD 児における OROS-MPH 治療効果の検討: 近赤外線スペクトロスコピー (NIRS) によるワーキングメモリ評価, 第 54 回児童青年精神医学会総会, 2013. 10, 札幌市

1432027

*川谷 正男, 高橋 哲也, *巨田 元礼, *米谷 博, *大嶋 勇成, *友田 明美, +平谷 美智夫: 発達障害の同胞例における非線形解析を用いた脳波研究, 第 56 回日本小児神経学会学術集会, 2014. 05, 浜松, 脳と発達, 46 (suppl) , S348, 2014. 05

1432028

田中 悠二, 高橋 哲也, +菊知 充, 上野 幹二, 岡崎 玲子, 高橋 紘一, 東間 正人, +三邊義雄, 和田 有司: クロス・マルチスケールエントロピー解析を用いた統合失調症における脳内神経ネットワーク障害の検討, 第 110 回日本精神神経学会学術総会, 2014. 06

1432029

升谷 泰裕, 西本 武史, *高野 智早, 石川 俊介, 後藤 嵩志, *高井 美穂子, 小坂 浩隆, 和田 有司: ベンゾジアゼピン多剤併用から抑肝散に置換し不安・不眠が軽快した白血病の一症例, 第 110 回日本精神神経学会学術総会, 2014. 06, 横浜市

1432030

*片山 寛次, +加藤 泰史, *児玉 麻衣子, 西本 武史, +藤井 秀則, +宮永 太門, +谷 一彦: 福井県緩和医療研究会・福井県がん在宅緩和ケア推進検討会による「診療手帳ふくい 在宅緩和ケア地域連携パス」の県内普及活動、第 1 報, 第 19 回日本緩和医療学会学術大会, 2014. 06, 神戸市, 抄録集, 475

1432031

*片山 寛次, *児玉 麻衣子, *桑原 希恵, *高野 智早, *小林 美貴, *廣野 靖夫, 西本 武

史：北陸がんプロ福井大学「在宅緩和医療（医師・スタッフ）養成コース」による在宅医療者養成の試み，第 19 回日本緩和医療学会学術大会，2014. 06，神戸市，抄録集，505

1432032

+大沼真紀代，*梅澤有美子，高橋 哲也，+岡崎 玲子，+玉川美津恵，+栗田智美，和田有司，*井隼彰夫：大学健康調査による最近の医学生と看護学生における気質の検討，第 52 回全国大学保健管理研究集会，2014. 09，プログラム・抄録集

1432033

升谷 泰裕，*岡本 悠子，*藤澤 隆史，*田仲志保，+新井 清義，*浅野 みずき，+丁 ミンヨン，+石川 俊介，*藤岡徹，石飛 信，松村 由紀子，*友田明美，小坂 浩隆，+石飛信：青年期 ASD 者における視線計測と血漿オキシトシン濃度の関連，第 55 回日本児童青年精神医学会，2014. 10，浜松

1432034

+新井清義，*藤岡徹，石飛 信，*浅野 みずき，*滝口慎一郎，+丁 ミンヨン，*岡本 悠子，*友田明美，+平谷美智夫，+松浦直己，小坂 浩隆：低年齢層の ADHD 児における OROS-MPH 治療効果の検討：CANTAB を用いた実行機能評価，第 55 回日本児童青年精神医学会，2014. 10，浜松

1432035

*藤岡徹，+平谷美智夫，小坂 浩隆：保護者と教員は何を基準に ADHD-RS をつけているのか？ ～ ADHD-RS と WISC-IV との関連からの推測～，第 55 回日本児童青年精神医学会，2014. 10，浜松

1432036

+丁 ミンヨン，+石飛信，+棟居俊夫，*岡本 悠子，*藤岡徹，*新井 清義，*浅野 みずき，升谷泰裕，*友田明美，小坂 浩隆：Resting-state functional connectivity MRI (rs-fcMRI) を用いた自閉症スペクトラム障害 (ASD) と Default-mode network (DMN) の関連性について：rs-fcMRI による ASD バイオマーカーの検討，第 55 回日本児童青年精神医学会，2014. 10，浜松

1432037

*藤澤 隆史，*田仲志保，*熊崎博一，小坂 浩隆，*友田明美：自閉症児における社会的情報に対する視線注視パターンと唾液中オキシトシン濃度，第 55 回日本児童青年精神医学会，2014. 10，浜松

1432038

*野路恵里佳，*熊崎博一，+新井 清義，+滝口慎一郎，*藤澤 隆史，小坂 浩隆，+平谷美智夫，*友田明美：ADHD 児と ASD 児における感覚の比較，第 55 回日本児童青年精神医学会，2014. 10，浜松

1432039

*浅野みずき，小坂 浩隆，*野路恵里佳，+水島栄，+小泉径子，*藤澤 隆史，*升谷泰裕，*滝口慎一郎，*友田明美：愛着障害に対するオキシトシン点鼻継続投与～症例報告～，第 55 回日本児童青年精神医学会，2014. 10，浜松

1432040

*川口 めぐみ，*中村 巳早都，田中 悠二，+鳥羽 愛乃，+炭本 祐佳：高齢地域住民の認知機能と生活習慣，日本看護学会（精神看護），2014. 10，第 45 回日本看護学会－精神看護－学術集会抄録集，1，113

1432041

*梅澤 有美子，+岡崎玲子，高橋哲也，+大沼真紀代，+玉川美津恵，+栗田智未，和田有司，*井隼彰夫：看護学生における入学後の気質変化，日本精神衛生学会，2014. 11，札幌

(3) 国内学会（地域レベル）

a. 一般講演（口演）

1432042

上野 幹二，神近 哲郎，田中 悠二，高橋 哲也，東間 正人，和田 有司：精神病症状を呈した非けいれん性てんかん重積状態の1例，第186回北陸精神神経学会，2014.07

1432043

上野 幹二，松村 由紀子，東 美江，大沼 真紀代，竹浦 愛，東間 正人，和田 有司：パニック発作を主徴扁桃体肥大を伴う側頭葉てんかんの1例，第187回北陸精神神経学会，2015.01，金沢市

1432044

石川 俊介，水野 智之，+後藤 嵩志，岡崎 玲子，+藤川 明希，東間 正人，+村田 哲人：重積後に長期間記憶障害を呈した側頭葉てんかんの1例，第187回北陸精神神経学会，2015.01

b. 一般講演（ポスター）

1432045

*亀井 絵里奈，*嶋田 誠一郎，東間 正人，小俣 直人，*中村 巳早都：当院精神科リエゾンチームにおける1年間の活動報告と作業療法士の役割，第14回東海北陸作業療法学会，2014.11，四日市

(4) その他の研究会・集会

a. 一般講演（ポスター）

1432046

+ジョン ミンヨン，小坂 浩隆，*齋藤 大輔，石飛 信，+守田 知代，*猪原 敬介，*浅野 みずき，+新井 清義，+棟居 俊夫，*友田 明美，和田 有司，*定藤 規弘，+飯高 哲也，*岡沢 秀彦：自閉症スペクトラム障害（ASD）における安静状態の脳活動パターン ～ 定型発達群（TD）との比較 ～，共感性の進化・神経基盤キックオフミーティング，第1回公募班キックオフミーティング，2014.07，東京

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
平成26年度 「地（知）の拠点 整備事業（大学 COC事業）」	地域に生きる 高齢者のメン タルヘルス向 上		東間 正 人		2014.04～ 2015.03	512 千円
福井県大学連携リ ーグ連携研究推進 事業	自閉症スペク トラム障害の 早期発見と診 断精度の向上 を目的とした 神経基盤の解 明とバイオマ ーカーの開発		上野 幹 二	高橋 哲也	2014.04～ 2015.03	950 千円

福井県大学連携リ ーグ連携研究推進 事業	高齢者のメン タルヘルスに おける早期診 断・早期介入 モデルの構築		田中 悠 二	東間 正人, 高橋 哲也	2014. 04～ 2015. 03	1, 000 千円
----------------------------	--	--	-----------	-----------------	-----------------------	-----------

区分	研究種目	課 題 名	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(B)	オキシトシン療 法による自閉症 スペクトラム障 害者の自己観の 変化に関する脳 科学的研究	+棟居 俊 夫	小坂 浩隆	2014	260 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(B) (一般)	治療抵抗性うつ 病の病態解明・ 治療法開発に資 する分子イメー ジングプローブ の開発	*清野 泰	小俣 直人	2014	4, 290 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(B) (一般)	脳画像解析と遺 伝子多型解析の 融合による注意 欠陥多動性障害 (ADHD) の 病態解明	*友田 明 美	小坂 浩隆	2014	5, 460 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	医学的評価に基 づく自閉症児の きょうだい支援 システムの構築	*川谷 正 男	高橋 哲也	2014	2, 210 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	神経ネットワー クに着目した電 気けいれん療法 の作用機序の解 明-脳波の非線形 解析-	岡崎 玲 子	高橋 哲也, 上野 幹二	2014	3, 380 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	亜鉛欠乏および 社会的隔離によ る情動変化に関 する基礎的研究	小俣 直 人		2014	1, 560 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	自閉性障害の神 経ネットワーク 異常に関する研 究：非線形解析 による脳形態生 理学的検討	高橋 哲 也	上野 幹二, 岡崎 玲子	2014	1, 300 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	創造性が高齢者 の脳機能に及ぼ す影響-脳波の 非線形解析を用 いた統合的研究 -	上野 幹 二	高橋 哲也	2014	780 千円

文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	体内オキシトシン濃度の簡易検査法としての唾液中濃度測定の有用性の検討	松村 由紀子		2014	2,600 千円
学内競争的資金	学長裁量経費・研究育成経費（若手研究支援）	老年期精神障害に対する早期介入モデルの構築：脳構造・脳機能・心理社会的アプローチ	田中 悠二		2014	600 千円

(B) 奨学寄附金

受入件数	32 件
受入金額	15,795,000 円

5. その他の研究関連活動

(A) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本てんかん学会	評議員	和田 有司
日本生物学的精神医学会	評議員	和田 有司
日本精神科診断学会	評議員	和田 有司
日本脳波薬物学会	評議員	和田 有司
日本臨床精神薬理学会	評議員	和田 有司
日本老年精神医学会	評議員	和田 有司

(B) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員の別	氏名
児童青年精神医学とその近接領域	編集委員	小坂 浩隆

(C) その他

<報道> ・ 和田 有司：検査ミスで死亡 福井大などを提訴，福井、県民福井、中日、産経，2014.05.03 ・ 東間 正人：福井弁護士会がシンポ，朝日，2014.06.11 ・ 小坂 浩隆：自閉症スペクトラム障害 脳活動連携に弱さ，福井、県民福井、朝日、毎日、中日，2014.06.19 ・ 小坂 浩隆，+新井清義：福井大2人に助成 明治安田財団，県民福井、中日、福井，2014.08.28 ・ 小俣 直人：“ふくいのドクター相談室”老人性うつ病つらさや和らげたい，福井，2014.09.11
--

・小坂 浩隆:	“元気で医こう” 自閉症スペクトラム障害, 県民福井, 2014. 09. 14
・小坂 浩隆:	“科学MONDAY” 自閉症スペクトラム障害, 読売, 2014. 09. 27
・小俣 直人:	“元気で医こう” うつ病とそううつ病, 県民福井, 2014. 10. 12
・小坂 浩隆:	自閉症スペクトラム障害 福井、東京など4大学, 福井、県民福井、読売, 2014. 10. 31
・小坂 浩隆:	福井大など脳活動測定裏付け, 福井、県民福井、中日、京都, 2014. 11. 06
・和田 有司:	心のケア養成講座管理職ら60人真剣, 福井, 2014. 11. 14
・和田 有司:	ピアノと声楽調べ患者らの心和ます, 福井, 2015. 01. 30
・小坂 浩隆:	発達障害者の苦痛接し方で和らげて 福井工大で研修, 中日, 2015. 03. 21

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関・委員会の名称等	役職	氏名	期間
国	福井地方裁判所, 心神喪失者等医療観察法関係研究協議会	精神保健審判員	東間 正人	2014. 01～
地方自治体	福井県自殺対策協議会	委員	和田 有司	2008. 04～
地方自治体	福井県, 福井県警察本部健康相談	健康相談医	小坂 浩隆	2010. 04～
地方自治体	福井県警察本部	警察職員健康管理審査委員, 精神衛生カウンセラー	小坂 浩隆	2011. 04～
地方自治体	福井県子どものこころの診療医養成事業ワーキング委員会	委員	小坂 浩隆	2013. 03～
地方自治体	福井県精神保健福祉センター, 福井県精神科医療審査会	委員	東間 正人	2013. 04～ 2018. 03
地方自治体	福井県健康福祉部	委員	和田 有司	2013. 04. 20～ 2015. 04. 19
地方自治体	永平寺町, 介護認定審査会	委員	東間 正人	2013. 09～ 2017. 03
公益法人等	福井県精神福祉協会	副会長	和田 有司	2005. 04～
公益法人等	福井産業保健推進連絡事務所	産業保健相談員	和田 有司	2013. 04. 01～ 2015. 03. 31
公益法人等	(財)嶺南医療振興財団	理事	和田 有司	2013. 05. 30～ 2015. 05. 30
その他	福井県神経科精神科医会	会長	和田 有司	2000. 10～
その他	うつ病に関する一般医と精神科医の連携強化事業検討委員会	委員長	和田 有司	2010. 06～
その他	福井県精神保健福祉センター	委員	小俣 直人	2012. 09. 01～ 2014. 08. 31
その他	社会保険診療報酬支払基金福井支部	委員	和田 有司	2012. 11. 22～ 2014. 11. 21
その他	(社)福井県医師会	委員	和田 有司	2013. 08. 01～ 2015. 06. 30
地方自治体	福井県健康福祉部	委員	和田 有司	2014. 04. 01～ 2015. 03. 31
地方自治体	福井市役所	精神衛生カウンセリング員 (メンタルヘルス相談医)	松村 由紀子	2014. 07. 01～ 2015. 03. 31

その他	社会保険診療報酬支払基金福井支部	委員	和田 有司	2014.11.22～ 2016.11.21
地方自治体	福井県健康福祉部	委員	和田 有司	2014.11.26～ 2016.11.25
地方自治体	福井県精神保健福祉センター	委員	東間 正人	2015.02.01～ 2018.03.31

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
講演・セミナー等	石川県病院薬剤師会学術講演会（第2回精神科病院委員会研修会）、「うつ病の病態」、「うつ病の薬物療法」	金沢勤労者プラザ，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	奥越地域保健・福井市・環境関係省区員研修会（奥越健康福祉センター）、「成人の発達障害～その病態像を理解する」	多田記念大野有終会館，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	社会福祉法人芦山会家族会支援活動講演，「障害って脳の病気？」	カプチーノ，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	福井県自閉症協会 ペアレントメンター活動バックアップ講座，「医療機関における支援の現状」	福井県こども療育センター，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	勝山市精神保健福祉センター，「統合失調症、うつ病の方への関わり方」	勝山市福祉健康センター「すこやか」，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	平成24年度公益事業（保健医療の特別講演会&シンポジウム），発達障害のいま～つながりを求めて～シンポジウム	多田記念大野有終会館，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	子どものこころの分子統御機構研究センター 平成24年度業績報告，青年期高機能自閉症スペクトラム障害のMR研究	大阪大学医学部銀杏会館，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	厚生病院院内講習会「発達障害治療への取り組み」，「発達障害治療への取り組み」	福井厚生病院，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	福井県福井健康福祉センター講習会「大人の発達障害の理解とその関わり」，「大人の発達障害者の理解とその関わり」	福井県福井健康福祉センター，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	第17回東京臨床画像解析研究会，「青年期高機能自閉症スペクトラム障害のMRI研究」	東京，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	第51回福井県小児保健協会学術集会，シンポジウム「精神疾患を抱えた母親への育児支援」	福井大学医学部附属病院臨床研修教育センター，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	思春期のこころの健康に関する研修会，「思春期のこころの問題と自殺予防について」	福井県福井健康福祉センター（福井地域自殺予防対策協議会、地域精神保健福祉業務連絡会思春期部会），専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	CNS Forum in FUKUI 2013，「成人期ADHDの診断と治療」	ホテルフジタ福井，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	医療・教育と発達障害～医療・教育の現状とこれから～，「医療と発達障害」	敦賀市福祉総合センター あいあいプラザ，専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	平成25年度公益事業（保健医療の特別講演会&シンポジウム），「大人の発達障害の支援」シンポジウム	福井テレビ，専門職業人	小坂 浩隆

講演・セミナー等	平成 25 年度 全国地域生活定着支援センター協議会 東海・北陸ブロック 事例研究及び専門研修会, 「発達障害について」	コミュニティリゾート リライム, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	子どもの心の診療医養成事業研修基礎講座, 「成人期の発達障害のポイント」	福井県医師会館, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	ストラテラ・サインバルタ全国学術講演会, 「ADHD をもつ方に寄り添うー精神科医にできることー」	ホテルオークラ東京 本館 1F「平安の間」, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	第 1 回石川 ADHD 研究会, 「おとなの ADHD をもつ方とのお付き合い」	金沢白鳥路ホテル, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	岐阜県 ADHD を考える会, 「成人期 ADHD をもつ方とのおつきあい」	岐阜都ホテル, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	第 24 回診療情報管理実務研修会, 「発達障害ー診断名や診断基準の変更についていくー」	石川県地場産業振興センター, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	第 28 回島根てんかん・神経研究会, てんかんと神経疾患	専門職業人, 40 人	和田 有司
講演・セミナー等	(社) 日本精神科看護技術協会 福井県支部 精神科初任者研究会, 「精神科疾患の理解と薬物療法について」	福井県自治会館, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	平成 26 年度衛生管理者研修, 気分障害者の職場復帰について	福井産業保健推進連絡事務所, 専門職業人, 30 人	東間 正人
講演・セミナー等	子どもの心の診療医養成事業研修基礎講座, 「成人期の発達障害のポイント」	武生商工会議所, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	第 3 回静岡成人期 ADHD 講演会, 「成人期 ADHD をもつ方とのおつきあい」	静岡, 専門職業人	小坂 浩隆
講演・セミナー等	平成 26 年度衛生管理者研修, メンタルヘルス不調者の面接と症状の理解	福井産業保健推進連絡事務所, 専門職業人, 30 人	東間 正人
講演・セミナー等	うつ病に対する一般医と精神科医の連携強化研修会, うつ病に対する一般医と精神科医の連携	福井県医師会, 専門職業人	小俣 直人
講演・セミナー等	学問発見講座, 専門講義 (医学)	福井県立藤島高等学校, 高校生, 100 人	東間 正人
講演・セミナー等	奥越地域保健・福祉・環境関係職員研修, うつ病・適応障害～病態像と対応について	福井県奥越健康福祉センター, 専門職業人	小俣 直人
その他	成人期 ADHDWeb 講演会, 「ADHD をもつ方に寄り添うー精神科医にできることー」	福井パレスホテル →Web で全国配信, 専門職業人	小坂 浩隆